凡　事　徹　底

当たり前のことを当たり前に

蕨市立第二中学校
学校だより
令和５年度
第１号（４月号）

令和５年度を迎えて

校長　椿　智絵

お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。本年度は１８５名の新入生が入学し、２年生１９５名、３年生１７６名、生徒数５５６名、１７学級での出発です。新しい中学校生活への夢や希望が満ちあふれた新入生。そして、２・３年生もそれぞれ進級し、それぞれの学年の役割に責任を感じ、緊張した中にも意気込みが感じられます。この１年間、一人一人の生徒が充実した学校生活を送れるよう、またいろいろな経験を通して大きく成長できるよう、全教職員で取り組んでまいります。本年度も保護者・地域の皆様のご理解とご協力を、よろしくお願いいたします。

当たり前のことを当たり前に行う学校

本校の学校教育目標、校訓は次のとおりです。

学校教育目標
- ◎自ら学び、深く考える生徒　（知）
- ◎心豊かで、思いやりのある生徒　（徳）
- ◎たくましく、健やかな生徒　（体）

校訓　「凡事徹底」
- 当たり前のことを当たり前に行う学校
- 当たり前のことを当たり前にできる生徒

「凡事徹底」とは、「何でもないような当たり前のことを徹底的に行う」という意味です。

元プロ野球選手のイチロー選手は、プロ野球における通算安打世界記録保持者（日米通算 4367 安打）でギネス世界記録に認定もされている名選手です。数々の名言を残していますが、その一つに、「特別なことをするために特別なことをするのではない。特別なことをするために普段どおりの当たり前のことをする。」があります。「小さなことを積み重ねることが、とんでもないところへ行くただ一つの道だ。」と、毎日ストレッチを欠かさず丁寧に行ったり、プロ野球通算最多安打数の世界記録のお祝いの会を中座し１時間半トレーニングをしてきたりするなど、黙々と努力を積み重ね、偉大な記録を打ち立ててきたのです。

でも、当たり前のことを当たり前に行うこと、またそれを続けて行っていくことは、簡単そうですが、意外と難しいものです。当たり前の基準が人によって異なることがその要因の一つと考えられます。

そこで、本校では、「二中Basic」を定めて、全校で取り組んでいくことにしました。

二中Basic　～凡事徹底～

学習Basic
- 授業の最初と最後の大きなあいさつ
- メリハリのある授業環境
- 正しい姿勢

生活Basic
- 自分からあいさつ
- 時間厳守
- 正しい服装

給食Basic
- 50分のチャイムで着席
- 当番はエプロン・三角巾

清掃Basic
- 全員そろって始めの会・反省会
- 心を込めて隅々まで
- 今日の汚れは今日落とす

家庭Basic
- 家庭学習１時間
- 朝ご飯100%
- 忘れ物ゼロ

令和 5 年度も、学校・家庭・地域が一体となり、子供たちの成長を見守っていけるよう、積極的に連携・協力し、取り組んでまいりたいと思います。本年度も、どうぞよろしくお願いいたします。

《学校教育目標》
- 自ら学び、深く考える生徒　（知）
- 心豊かで、思いやりのある生徒　（徳）
- たくましく、健やかな生徒　（体）

蕨市立第二中学校
電話：048-443-2670 FAX：048-443-2671
URL：http://www.warabi.ne.jp/~warabi-2/
e-mail：warabi-2@warabi.ne.jp